



身近な自然も対象に

『自然共生サイト』



兵庫県「神戸の里山林・棚田・ため池」
申請者：兵庫県神戸市

環境省 自然環境局 自然環境計画課

OECM 2010年に日本で生まれた 自然を守る方法

生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択されました。この世界目標を踏まえ、我が国では、2030年ミッションとして、生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現を掲げています。この実現に向けて、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30目標)を位置づけています。

【保護地域以外】で、生物多様性保全に資する地域

Other Effective area-based Conservation Measures

『自然共生サイト』について



自然共生サイトとは

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組を令和5年度から開始しました。認定区域は、保護地域との重複を除き、OECM(Other Effective area-based Conservation Measures:保護地域以外で生物多様性保全に資する区域)として国際データベースに登録され、30by30目標の達成に貢献します。

- ・「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず『自然共生サイト』に認定。
- ・「自然共生サイト」に認定された区域のうち、**保護地域との重複を除いた区域**を『OECM』として登録。

『自然共生サイト』の対象となる区域について

「自然共生サイト」の対象となる区域は、

例えば…

企業の森、ナショナルトラスト、バードサンクチュアリ、ビオトープ、自然観察の森、里地里山、森林施業地、水源の森、社寺林、文化的・歴史的な価値を有する地域、企業敷地内の緑地、屋敷林、緑道、都市内の緑地、風致保全の樹林、都市内の公園、ゴルフ場、スキー場、研究機関の森林、環境教育に活用されている森林、防災・減災目的の森林、遊水池、河川敷、水源涵養や炭素固定・吸収目的の森林、建物の屋上、試験・訓練のための草原・・・

といった場所のうち、**生物多様性の価値を有し、企業、団体・個人、自治体による**様々な取組によって、本来目的に関わらず**生物多様性の保全が図られている区域**。



「奄美大島 真米(まぐむ)の里 秋名・幾里・大勝」(一社)奄美縮作保存会



「麻機遊水地」麻機遊水地保全活用推進協議会



「あさひ・いのちの森」旭化成(株)・旭化成ホームズ(株)



「阿蘇グリーンストックトラスト地(駅裏/1区)」(公財)阿蘇グリーンストック



「植草共生の森」植草学園大学



「ENEOS(株) 根岸製油所 中央緑地」ENEOS(株)



「愛媛県今治市織田ヶ浜海岸」東芝ライテック(株)



「王子の森/木屋ヶ内山林」王子ホールディングス(株)



「大手町タワー」東京建物(株)



「大林組技術研究所雑木林」(株)大林組



「奥びわ湖・山門水源の森」山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会



「叶 匠寿庵 寿長生の郷」叶 匠寿庵



「亀山里山公園(通称:みちくさ)」三重県亀山市



「関西国際空港島 人工護岸 藻場サイト」関西エアポート(株)



「北九州市響灘ピオトープ」福岡県北九州市



「君津グリーンセンター(旧樹芸林業試験場)」内山緑地建設(株)



「柞の森(クスギ植林地)」(株)ノトハソ



「コウトリ育む祥雲寺水田とピオトープ」兵庫県立大学大学院・コウトリの郷営農組合



「神戸の里山林・棚田・ため池」兵庫県神戸市



「サンデンフォレスト」サンデン(株)



「サントリー天然水の森 ひょうご西脇門柳山」サントリーホールディングス(株)



「下田の杜」NPO法人下田の杜里山フォーラム



「下丸子の森」キャノン(株)



「積水メディカル岩手工場」積水化学工業(株)

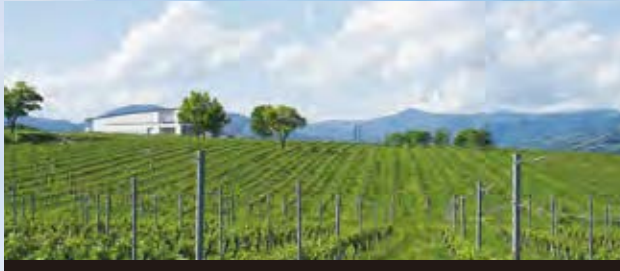
※各表記は、「サイト名」申請者名(五十音順)



「積水樹脂物流センター 生物多様性保全エリア」積水樹脂(株)



「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林 宮城県仙台市



「シャトー・メルシャン 梔子ヴィンヤード」麒麟ホールディングス(株)



「大日本印刷(株) 市谷の杜」大日本印刷(株)



「武田薬品工業(株)京都薬用植物園内の樹木園」武田薬品工業(株)京都薬用植物園



「田島山業×みんなの森プロジェクト」田島山業(株)



「中パの森 高岡」中越パルプ工業(株)



「つなぐ森」野村不動産ホールディングス(株)



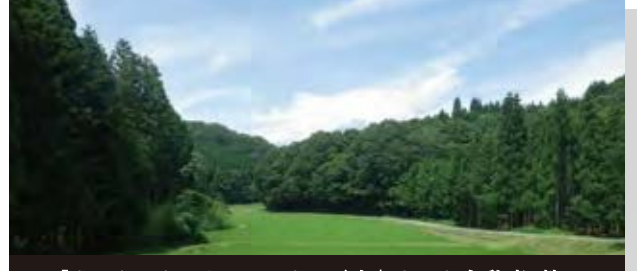
「天覧山東谷津・ほとけじょうの里」NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会



「東京ガーデンテラス紀尾井町 光の森」(株)西武リアルティソリューションズ



「東洋紡 綾の森」東洋紡(株)



「トヨタテクニカルセンター下山」トヨタ自動車(株)



「橋本山林（経済性と環境性を高い次元で両立させる自伐林業による多間伐施業の森）」NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会



「八王子市長池公園」NPOフュージョン長池



「パナソニック 草津工場 共存の森」パナソニック(株)



「東知多工場バードピア」(株)豊田自動織機



「富士通沼津工場」富士通(株)



「プラザの森 郡上」プラザ工業(株)・岐阜県郡上市・郡上森林組合



「ブランチ神戸学園都市 チガヤ群落」大和リース(株)



「Present Tree in くまもと山都」認定NPO法人環境リレーションズ研究所他



「三井住友海上駿河台ビル及び駿河台新館」三井住友海上火災保険(株)



「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森」KMバイオロジクス(株)



「モビリティリゾートもてぎ」本田技研工業(株)

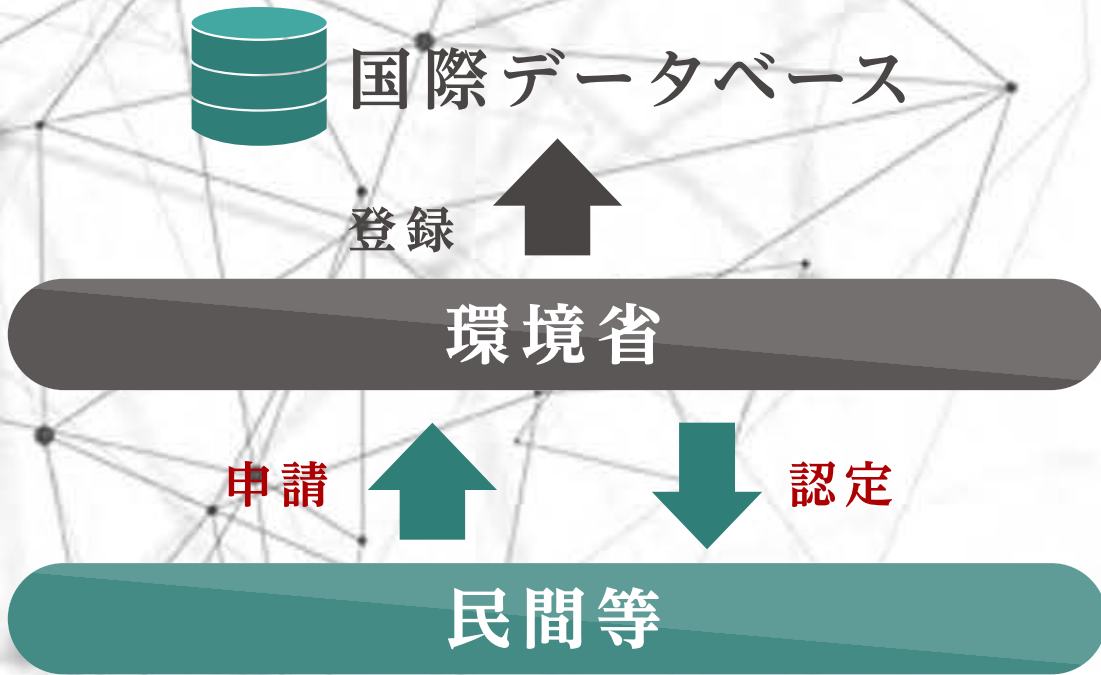


「吉崎海岸自然共生サイト」三重県四日市市・権地区まちづくり検討委員会・NPO法人 四日市ウミガメ保存会



「Workcation Place 花伝舎」ミヤマ(株)

認定スキームのイメージ



環境省が自然共生サイトに認定。
保護地域との重複を除き、OECM国際データベースに登録。

『自然共生サイト』の認定基準

1. 境界・名称に関する基準
2. ガバナンスに関する基準
3. 生物多様性の価値に関する基準
4. 活動による保全効果に関する基準

「生物多様性の価値に関する基準」の具体的内容

以下のいずれかの価値を有すること	
場	① 公的機関によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場
	② 原生的な自然生態系が存する場
	③ 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場
	④ 生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場
	⑤ 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場
種	⑥ 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場
	⑦ 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場
機能	⑧ 越冬、休息、繁殖、採餌、移動(渡り)など、動物の生活史にとって重要な場
	⑨ 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場

30by30目標とは

サーティ・バイ・サーティ
30 by 30

2030年までに陸と海の
30%以上を保全する
新たな世界目標



30by30(サーティ・バイ・サーティ)とは、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

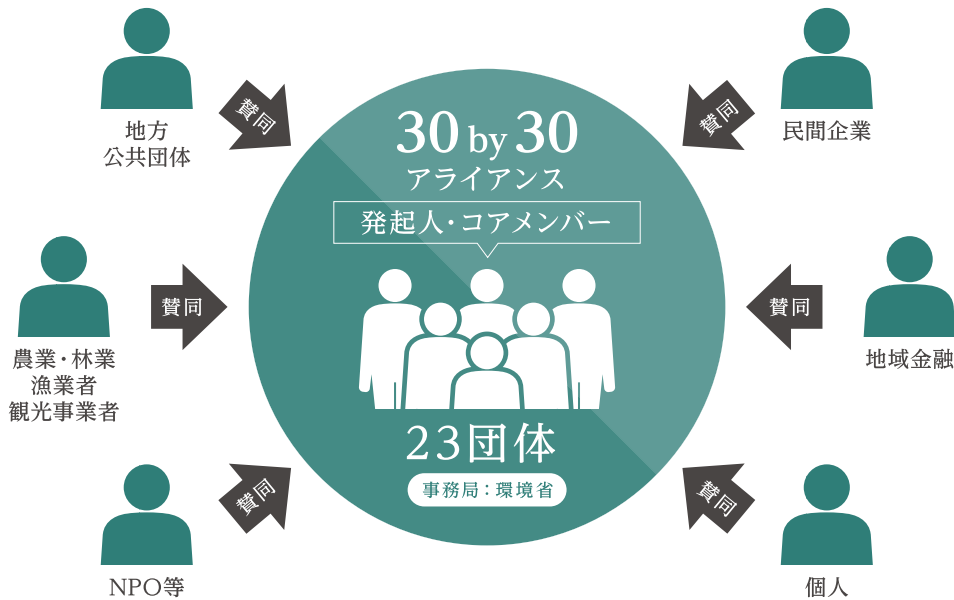
「30by30目標」達成に向け、

今後日本として現状の保護地域
(陸域約20%、海域約13%)の拡充

OECMの設定・管理に関する
取り組みを推進

有志の企業・自治体・団体の方々による

『生物多様性のための30by30アライアンス』発足



自然共生サイト
について



30by30
アライアンス
について



生物多様性のための30by30アライアンス事務局【自然環境局自然環境計画課】

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL:03-3581-3351(代表) E-Mail:30by30alliance@env.go.jp